

BERC ニュース

BERC活動アンケート

「関西支部」新設の要望

研究部会活動などに評価

「BERC活動に対するアンケート」結果がまとまった。これによると①倫理プログラム研究部会、啓発・ツール研究会に対する満足度が、かなり高い②要望としてホームページを充実してほしい③関西支部を立ち上げてほしいなどが主な特色となっている。

HP充実望む声も

十二月十五日にEメールアンケートでは、多様な意見が寄せられた。主なものは以下の通り。《研究会》▽会議の設け方では、講演を聞く場合を織り交ぜる方式がよいのではないか。各企業において業種や規模で取り組み状況に差が生じてきているので、グループ分けも必要▽幹事会員の

約三十年前に私は朝日新聞社の大阪本社経済部で松下電器を担当して



トップが語る 松下電器産業会長 森下 洋一さん

もりした よういち 関西学院大学卒業。1957年に松下電器産業に入社。日本経団連評議員会議長はじめ公職多数。2000年6月に社長から会長。70歳。

おり、創業者の松下幸之助さんが相談役でおられました。松下さんはそのとき

に企業は社会の公器であるとおっしゃっていました。「そうなんです。松下に

いう企業理念です。これに則り会社の使命(ミッション)は社会のお役に立つということです。そのために松下グループには綱領、信条、遵奉すべき精神があり、さらに全従業員が守るべき『行動基準』があります。」

「行動基準には何が書かれていますか。一九九二年一月に作られ、今年一月に二度目の改定をしました。その冒頭に中村邦夫社長が企業倫理を平たい言葉で『スローリー』と直に松下グループに徹しよ」と訴えています。先ほ

中から企業倫理を守っているのは商売ができないという声は出ていませんか。」「確かにテレビ事業をはじめどの事業分野でも激しい競争が続いています。しかし、競争が激しいからといって不正なことをしてまで売り上げを増やす必要はないと思います。」

うした仕組みを作ることです。奥田碩会長は企業倫理に特に力を入れており、理事会で事あるごとに強調しています。さらに毎年十月に企業倫理トップセミナーを開いて、各社の経営者に企業倫理を徹底させて

います。トップ自らが高い倫理観を持って実行するということを繰り返すしかないと思います。」

「大阪に本社があるというところでハンディや不便になることはありませんか。」「東京には必要な機能を置いており、大阪本社ということで不便なことはありません。今や東京、大阪というより事業の舞台は世界全体なのです。また世界中どこでも松下の企業理念が受け入れられてもらえるよう努めています。経営理念は不変であり、場所や時代によって変わるのはその実践の方途だ、ということですね。」

社会資産、還元する心を

「まったく残念なことです。奥田碩会長は企業倫理に特に力を入れており、理事会で事あるごとに強調しています。さらに毎年十月に企業倫理トップセミナーを開いて、各社の経営者に企業倫理を徹底させて

「まったく残念なことです。奥田碩会長は企業倫理に特に力を入れており、理事会で事あるごとに強調しています。さらに毎年十月に企業倫理トップセミナーを開いて、各社の経営者に企業倫理を徹底させて

「まったく残念なことです。奥田碩会長は企業倫理に特に力を入れており、理事会で事あるごとに強調しています。さらに毎年十月に企業倫理トップセミナーを開いて、各社の経営者に企業倫理を徹底させて

「まったく残念なことです。奥田碩会長は企業倫理に特に力を入れており、理事会で事あるごとに強調しています。さらに毎年十月に企業倫理トップセミナーを開いて、各社の経営者に企業倫理を徹底させて

「まったく残念なことです。奥田碩会長は企業倫理に特に力を入れており、理事会で事あるごとに強調しています。さらに毎年十月に企業倫理トップセミナーを開いて、各社の経営者に企業倫理を徹底させて

「まったく残念なことです。奥田碩会長は企業倫理に特に力を入れており、理事会で事あるごとに強調しています。さらに毎年十月に企業倫理トップセミナーを開いて、各社の経営者に企業倫理を徹底させて



アンケート結果などの説明が行なわれたBERC会員懇談会＝南青山会館で

BERC新入会員社の紹介

- ①企業名②資本金③代表取締役④経営倫理担当最高責任者⑤従業員数
▽①中国電力②1855・2762億円③白倉茂生
④未定⑤10850名
2月末現在 計82社

会員懇でアンケートを説明

二〇〇五年度の会員懇談会が二月七日に南青山会館で開かれた。議題は、二〇〇五年度のBERCの運営について。初めに、開催の主旨とBERCの近況報告、今年度の業務運営についての報告が手島祥行総務主幹からあった。引き続き、

者の各企業における位置付けが重要視されるようになる」との考えもあった。BERCでは、これらのアンケート結果を受けて、今年度の活動方針に生かしたいとしている。

「大阪に本社があるというところでハンディや不便になることはありませんか。」「東京には必要な機能を置いており、大阪本社ということで不便なことはありません。今や東京、大阪というより事業の舞台は世界全体なのです。また世界中どこでも松下の企業理念が受け入れられてもらえるよう努めています。経営理念は不変であり、場所や時代によって変わるのはその実践の方途だ、ということですね。」

「まったく残念なことです。奥田碩会長は企業倫理に特に力を入れており、理事会で事あるごとに強調しています。さらに毎年十月に企業倫理トップセミナーを開いて、各社の経営者に企業倫理を徹底させて

「まったく残念なことです。奥田碩会長は企業倫理に特に力を入れており、理事会で事あるごとに強調しています。さらに毎年十月に企業倫理トップセミナーを開いて、各社の経営者に企業倫理を徹底させて

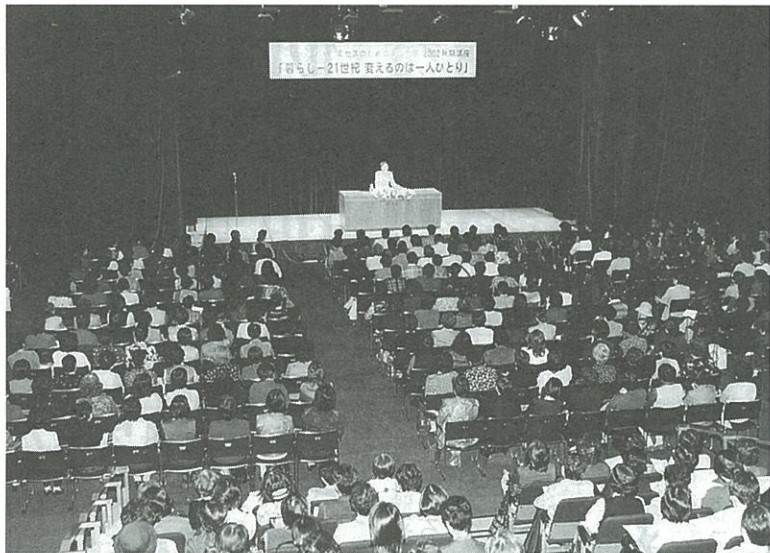
ミセスのためのミニ大学 22年間で200回超す講演

大宅さんは、単にガスの提供だけに留まらず、末端のユーザーに働きかけるような活動の必要性を提案。企画や運営の基本は、大幅に大宅さんに委ねられており、会費の有料方式(一回千円)にも、「申し訳ないが、聞く気のある聴衆に参加してもらった」と、大宅さんの意見が反映されている。

今までの主な講師は、田

東京ガス

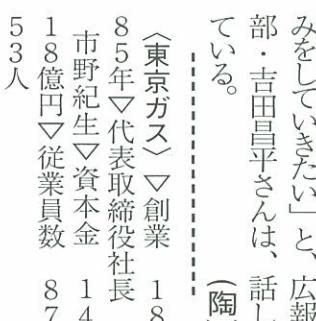
東京ガスの「ミセスのためのミニ大学」は、女性だけを対象として、二十年以上も続いている活動だ。開講した一九八四年当時は、女性の社会進出に対する機運が高まりつつあったことが背景にある。ミニ大学の狙いは、女性の立場を理解、向上させ、社会参画に貢献すること。コーディネーターは評論家の大宅映子さんに依頼した。



毎回約600人から800人の聴衆が集まる「ミセスのためのミニ大学」。22年間も続いている。円内は大宅映子さん



大宅さんによれば、「今は、数時間もあれば、家事仕事と、強調。「女性が変われば、



今年で二十二年目だが、参加者数の平均は、春が一回八百人前後、秋が、毎回六百人くらい。今までの参加者

〈東京ガス〉▽創業	18
85年▽代表取締役社長	14
市野紀生▽資本金	87
18億円▽従業員数	53人

理由があった。会社は儲かっているけれども、儲けを従業員に還元していかないのだ。企業

が伸びずに足踏みをしているのは、雇用者の収入が伸びないことへの反映だと考えられる。

フリーターと言われる若年者の非正規労働力が急速に増加しているのは誰もが知っている。フリーター

この春はまたとない機会である。企業には支払い能力がある。景気テコ入れのために個人消費の回復が望まれている。正社員にもアルバイトにも購買力をつけてほしい。彼らはもともと身近にいるお客さんである。

フリーターと言われる若年者の非正規労働力が急速に増加しているのは誰もが知っている。フリーター

社会貢献活動の現場から

⑧

森ビル 安全優先、徹底せず

六本木ヒルズ回転ドア事故

トップ 刑事責任と別に残る

森ビルの貸しビル六本木ヒルズで起きた回転ドア事故で、同社と回転ドアメーカーの三和タジマの役員ら六人が一月二十六日、業務上過失致死容疑で書類送検された。森ビルの森稔社長と三和タジマの目黒正弘前社長は、過去の事故について十分な報告を受けていなかったため、立件されなかった。

社会的に関心を集めた男児の死亡事故について刑事上の責任追及がどこまで及ぶかという問題は、これで一応決着した。しかし道義上または企業倫理上の観点からは、様々な問題が未解決のまま残っている。

最も重要なのは、経営トップの対応及び経営責任をどう考えるかという点である。厳密に詰めなければならぬ。

似たようなケースは総会議への利益供与事件でよくある。社長は直接指示せず、総会議との付き合いの実態も知らない。総務担当者は黙って総会議を円滑に運営するために総会議に金銭などを渡すという構図の事件がほとんどである。

トップまで逮捕されるケースは珍しく、刑事的に処罰されるのは総務担当者かせいぜい総務担当役員どまりで、経営トップは謝罪で済ませるといのがお定まりのパターンである。

これも経営責任という点で問題が多い。総会議との関係の有無を確認せず総務担当者任せきりというのでは、不作為の責任を問われよう。

六本木ヒルズの場合、昨年三月に六歳男児の死亡事故が発生するまでに、三十二件の事故が起きてい

た。特に三月前の六歳女児がドアに挟まれて負傷した事故の事後対策が不十分だったことが悔やまれる。この事故は森社長にも報告されていたが、きちんとな死亡事故まで起すほど危険だとは認識できなかったという。

刑事責任を問われなかった所のだが、多発していた事故に対する実務を担当する部下の反応が鈍かった点から、組織上の欠陥が浮かび上がる。安全を最優先すべきである。さ細なことのよ

うだが、記者会見を避けてきた点は、安全対策へのトップの意思が浸透していなかった件とどこかでつながっているように見える。

森社長は自身自身に五〇%の減俸六カ月という処分を下し、これから「陣頭指揮をとり人々が安心して街づくりを目指す」と記者会見で述べた。刑事責任を免れなくても経営責任は別である。それを今後どう果たしていくのか重い課題だ。

日本経済新聞・論説副主幹 森 一夫

賞光ペン

先日、発表された国民所得(GDP)統計によると昨年10-12月期の日本経済はマイナス成長で、これで一年の四分三の期間マイナスが続いてしまったのだという。どうも景気はあまり良くはないらしい。

しかし昨年来の企業業績は絶好調である。東証一部上場の三月末企業決算は、経常利益で二年連続して史上最高になるのが確実だという。会社はかつてないほど大いに儲かっているのに、不思議なことに世の中の景気は悪いというのだ。

理由があった。会社は儲かっているけれども、儲けを従業員に還元していかないのだ。企業

景気のコ入れ 個人消費回復へ いま「賃上げ」を

者に分配し、景気回復の旗を振っていただきたい。その際は自社の従業員だけでなく、アルバイトや嘱託、派遣社員など正規社員ではないが自社で使っている雇用者にも十分の配慮を

フリーターと言われる若年者の非正規労働力が急速に増加しているのは誰もが知っている。フリーター

動き出す企業の少子化対策

前向きに支援 資生堂や損保ジャパン

日本に子どもが少なくなっている。街中で子どもを見かけないし遊んでいる姿も少なくなった。三十歳代の働く女性で結婚しない人は多い。国の統計を見ても、人口を維持するために必要な合計特殊出生率二・〇八を〇三年は一・二九と大幅に下回っている。〇七年から日本の人口は減って行くといわれており、各方面で少子化問題を取り上げられてきた。

このままで行くと日本は大きなことになるといえる。山口信夫・日本商工会議所会頭も「今年は少子化対策が最大の課題でしょう。このままいけば年金なども若い人の負担が大きくなりすぎる」と発言した。さら

ノーベル平和賞の受賞者 マータイ女史が来日 環境対策、女性自立で実績

昨年、ノーベル平和賞を受賞したケニアの環境活動家ワンガリ・マータイ女史が来日、二月二十一日、日本記者クラブで会見した。

同氏はケニア環境副大臣、アフリカの女性として初のノーベル賞受賞者。ケニアでNGO「グリーン・ベルト運動」を創設した。このNGOでは貧しい女性たちを育苗事業に参加させ三千



夜遅くまで熱心な議論が続いた第38回関西研究会＝大阪府商工会館で

日本経営倫理学会・関西研究会が一月三十一日、大阪府商工会館で開かれた。当日の発表者は吉川吉衛・大阪市立大学教授で、

熱心な討議続く 関西研究会

日本経営倫理学会関西支部は一九九四年秋に発足。翌年第一回の関西研究会が開催された。現在、会長は谷口昭三・桃山学院大学教授、事務局長は

研究会シリーズ(関西)

「関西フォーラム」など好評

日本経営倫理学会の活動

研究会が通算二十八回目の今回は通算二十八回目の研究会で学会員ら二十五人が出席。剣持浩事務局長の司会で、吉川教授の発表に続き、熱心な質問、討議が続けられた。非会員ながら企業幹部の技術者らも参加しており、特に技術開発、製

造管理といった現場意識とCSRとの関係に議論が集中した。この中で技術者サイドに配慮した経営トップの判断が重要であることが、強く認識された。

当夜は予定を一時間近くオーバーしての研究会。女性会員や大学院生らの熱心な発言が目立った。

剣持浩・学会理事。現在の会員は七十名。

会員は大学関係者はじめ松下電器、大阪ガスなど企業の経営倫理、CSR推進セクションの社員や、研究者ら。特に最近造管理といった現場意識とCSRとの関係に議論が集中した。この中で技術者サイドに配慮した経営トップの判断が重要であることが、強く認識された。

また一九九七年には、日本経営倫理学会・第5回研究発表全国大会を追手門大学(茨木市)で開

は大学院生への入会が増えているのも特色の一つ。現在、院生会員は十人。

活動面で注目されるのは、二〇〇〇年からスタートした「関西フォーラム」。テーマは、第1回「環境経営と経営倫理」、第2回「IT革命と経営倫理」、第3回「教育問題と経営倫理」など。タイムリーで前向きなテーマだけに、毎回好評。

また一九九七年には、日本経営倫理学会・第5回研究発表全国大会を追手門大学(茨木市)で開

催。さらに二〇〇三年七月には、本学会創立十周年記念事業の一環として、中部地区研究会と共催で、記念講演会を大阪国際会議場で開き、話題となった。

同会では「研究会は幅広い分野の発表があり、活動は活発だ。関西フォーラムも定着しつつあり、関係者の間では注目されてきた。毎回、発表や講演の後の質問、討論では、時間不足になってしまいが悩みのタネ。参加者の関心の高まり、熱意を感じる」と話している。

入会の申込み

経営倫理実践研究センターでは賛助会員の入会申込みを受け付けている。

- ▽年会費50万円
- ▽入会時に「経営倫理担当最高責任者」を登録する。

申し込み・問い合わせは経営倫理実践研究センター事務局へ。

電話03(5413)5897
FAX03(5413)5898



ノーベル平和賞受賞者ワンガリ・マータイ女史

北城格太郎・経済同友会代表幹事も「国際的に見て日本のように急激に少子高齢化が進んでいるのは珍しいですよ。何とか子どもを増やすようにしないと国際競争力で負けてしまいます」と日本IBM会長らしく国際的な観点から今年の課題を指摘した。

財界トップが日本の少子高齢化を心配しているのは昨年大問題になった年金改

革にからんでいる。年金を払う若い人が減って受け取る老人が増えていけば年金はパンクする。

厚生労働省は少子化対策のために「次世代育成支援対策推進法」を作り、四月から実施する。これを受けて企業はこれを示すマーク

BERC時局セミナー開く

BERCの時局セミナーが、東京・南青山会館で一月二十日に開かれた。今回の講師は中島茂弁護士で、テーマは「ホットラインの実際と危機管理」。当日は、約百名の参加があった。

企業不祥事は、内部告発で発覚するものが少なくないが、内部告発が増加している理由には、企業の統廃合があるという。会社に対する忠誠心などが薄れ、顧客のことより会社の生き

残り優先する会社にはいたくない、という個人意識の変化があると話した。

さらに、公益通報者保護法についても解説。同法の内容は、勤務先で不正行為等が発生、これを勤務先・監督官庁・マスコミなどに通報した場合、それを理由とする解雇や不利益な取扱いはしてはならないというもの。

この場合、ホットラインを整備しないと、マスコミなどに通報することを止められない。対象事実として企業にとってマイナスになるものをすべて吸い上げる必要がある。ホットラインは、使用して初めて生き残るのだと強調した。

留意点としては、よろず職場相談窓口として、①問口を狭めない②報告者の会社に対する匿名性を守る③メールを受け取った時点で「受け取りました」という

素早い対応をする④「今、調査中です」という経過報告をする⑤調査はダミー方式ですることなどを挙げた。

不祥事が発生してしまっ

た時には、迅速な情報開示をすることが重要である点を強調していた。

BERCの倫理プログラム研究部会が、損害保険ジャパン本社(東京)で、一月十七日に開催された。損保ジャパンの井上泉取締役常務執行役員から「リスク管理とコンプライアンス」というテーマで取り組みが紹介された。

続いて、BERCの水谷雅一会長の講演があった。水谷会長は、コンプライアンス担当者が出世コースを歩むことの必要性や「経営倫理」は世直し経営論であることを述べていた。

リスク管理などをテーマに 倫理プロ研究部会

ル ビル 安全優先、徹底せず

六本木ヒルズ回転ドア事故

トップ 刑事責任と別に残る

森ビルの貸しビル六本木ヒルズで起きた回転ドア事故で、同社と回転ドアメーカーの三和タジマの役員ら六人が一月二十六日、業務上過失致死容疑で書類送検された。森ビルの森稔社長と三和タジマの目黒正弘前社長は、過去の事故について十分な報告を受けていなかったため、立件されなかった。

社会的に関心を集めた男児の死亡事故について刑事上の責任追及がどこまで及ぶかという問題は、これが一応決着した。しかし道義上または企業倫理上の観点からは、様々な問題が未解決のまま残っている。

最も重要なのは、経営トップの対応及び経営責任をどう考えるかという点である。厳密に詰めなければならぬ。

らないう刑事責任は、ことの重大性をよく認識できない状況だったならば、追及するわけにはいかない。だが経営的には、知らなかったで済まされる問題ではない。

似たようなケースは総会屋への利益供与事件でよくある。社長は直接指示せず、総会屋との付き合いの実態も知らない。総務担当者は黙って総会を円滑に運営するために総会屋に金銭などを渡すという構図の事件がほとんどである。

トップまで逮捕されるケースは珍しく、刑事的に処罰されるのは総務担当者かせいぜい総務担当役員どまりで、経営トップは謝罪で済ませるといのがお定まりのパターンである。

これも経営責任という点で問題が多い。総会屋との関係の有無を確認せず総務担当者任せというのでは、不作為の責任を問われよう。

六本木ヒルズの場合、昨年三月に六歳男児の死亡事故が発生するまでに、三十二件の事故が起きてい

た。特に三月前の六歳女児がドアに挟まれて負傷した事故の事後対策が不十分だったことが悔やまれる。この事故は森社長にも報告されていたが、きちんとなされていないため、死亡事故まで起すほど危険だとは認識できなかったという。

刑事責任を問われなかった所だが、多発していた事故に対する実務を担当する部下の反応が鈍かった点から、組織上の欠陥が浮かび上がる。安全を最優先すべきである。さ細なことがよ

うだが、記者会見を避けてきた点は、安全対策へのトップの意思が浸透していなかった件とどこかでつながっているように見える。

森社長は自分自身に五〇%の減俸六カ月という処分を下し、これから「陣頭指揮をとり人々が安心して街づくりを目指す」と記者会見で述べた。刑事責任を免れても経営責任は別である。それを今後どう果たしていくのか重い課題だ。

日本経済新聞・論説副主幹 森 一夫

社会貢献活動の現場から

⑧

東京ガスの「ミセスのためのミニ大学」は、女性だけを対象として、二十年以上も続いている活動だ。開講した一九八四年当時は、女性の社会進出に対する機運が高まりつつあったことが背景にある。ミニ大学の狙いは、女性の立場を理解、向上させ、社会参画に貢献すること。コーディネーターは評論家の大宅映子さんに依頼した。

原総一郎さんや櫻井よしこさん、加藤タキさんら。テーマは、一貫して「個の確立」。講演の当日、始めに、何故この講師を選んだのか、聞き所等を解説。講演の後には、三十分程、質問を受けている。

大宅さんによれば、「今は、数時間もあれば、家事仕事と、強調。「女性が変われば、

がこなせる時代。一人ひとりの個性の違いを活かして、充実した人生を送って欲しい。もっと将来性のある日本であって欲しい。今のままの主婦のあり方では、もったいない。この講座を通して、積極的に社会に働きかける力を持つて欲しい」と、強調。「女性が変われば、

家庭が変わる。家庭が変われば、社会も変わる」。この信念に基づき、継続されている。

現在、年八回開催されているミニ大学だが、春期は、四回の講座をまとめて一セツトとする方式。秋期は、一回で一講座。春期に四回出席してもらおうのは、できるだけ多方面の講演で政治や文化など幅広い視野を養うため。秋は、ガスを供給している関東エリアの地域ごとに開催するため、一回のみの一講座方式。地域重視も特色となっている。

今年で二十二年目だが、参加者数の平均は、春が一回八百人前後、秋が、毎回六百人くらい。今までの参加者

先日、発表された国民所得(GDP)統計によると昨年10-12月期の日本経済はマイナス成長で、これで一年の四分三の期間マイナスが続いてしまったのだという。どうも景気はあまり良くはないらしい。

しかし昨年来の企業業績は絶対好調である。東証一部上場の三月末企業決算は、経常利益で2年連続して史上最高になるのが確実だという。会社はかつてないほど大いに儲かっているのに、不思議なことに世の中の景気は悪いというのだ。

理由があった。会社は儲かっているけれども、儲けを従業員への賃金としてあまり還元していないのだ。企業の取り分と雇員報酬の比率を比較した労働分配率で見ると、最新の統計で分る03年度まで、ずっと下がっている。GDP統計の一番大きな要素である個人消費

景気のテコ入れ 個人消費回復へ いま「賃上げ」を

者に分配し、景気回復の旗を振っていただきたい。その際は自社の従業員だけでなく、アルバイトや嘱託派遣社員など正規社員ではないが自社で使っている雇用者にも十分の配慮をいただきたい。良い会社は社会に良い風を送り込むものである。賃上げで社

この春はまたとない機会であろう。企業には支払い能力がある。景気テコ入れのために個人消費の回復が望まれている。正社員にもアルバイトにも購買力をつけてほしい。彼らももっと身近にお客さんである。

(朗)

ミセスのためのミニ大学 22年間で200回超す講演

東京ガス

大宅さんは、単にガスの提供だけに留まらず、末端のユーザーに働きかけるような活動の必要性を提案。企画や運営の基本は、大宅さんに委ねられており、会費の有料方式(一回千円)にも、「申し訳ないが、聞く気のある聴衆に参加してもらった」と、大宅さんの意見が反映されている。

今までの主な講師は、田



毎回約600人から800人の聴衆が集まる「ミセスのためのミニ大学」。22年間も続いている。円内は大宅映子さん



〈東京ガス〉▽創業 1885年
▽代表取締役社長 市野紀生
▽資本金 14億1800万円
▽従業員数 8753人

日本経営倫理学会を創立した以上、前号で述べたような冷やかな意見や、や暴言的な批判にたいして何としても学会の継続発展を期さねばならないと考え

回顧随想〈8〉 ライフ・ワーク としての経営倫理

BERC会長 水谷雅一

て、学会運営のための基本方針を次の三点とした。

(1) 魅力ある学会活動の実現に向けて活動内容の充実を図るとともに、入会者を増やすための勧誘活動を強化すること。

(2) 年次総会、理事会、定例交流会、研究発表大会、各種研究部会などの公式の会合を着実に開催運営し、内外からの信頼を獲得すること。

(3) 運営諸経費はできるだけ切り詰めて単年度の決算で赤字を出さないこと。

学会運営の基本方針

因みに昨今一部の学会で、経営業務を中心に学会の業務の運営事務を外部に委託し金銭的トラブル(持逃げや使い込み)に巻き込まれ収拾が困難になる状況に追込まれているケースもあるが、私は当初から他人任せにしないでいかに面倒が多かろうが自分達で処理することを貫くことにした。

その結果、事務局を担当する人達にとっては大変な苦勞を掛けたと思われる。

幸い尾林忠司氏(現評議員)や手島祥行氏(現副会長)など多くの企業実務の経験者がこうした基本方針に沿って運営に協力してくれたり、内田嬢(現事務局長)が支えてくれたこと

ともあり、お陰で創立後十二年間、一度も赤字決算をしたことはない。また活動内容もますます発展し、四十名足らずで発足した学会員数も今日では四百名を超える大世帯にまで発展した。

よく「数は力なり」と言われるが、学会員数が百名を超えて二百名に近づくにつれて、学会運営もようやく安定軌道に乗せることができるようになった。

しかし、こうして平成七八年の頃学会活動が活発化してきてもわが国企業社会における不祥事は減るどころか、ますます多発する嘆かわしい状況が続いた。

そのことがきっかけとなって、僕は、僕自身の戦後六十年というものを改めてふりかえてみた。それなりに紆余曲折はあったが、今となつては一言で言えばのつ

いまだきビジネススマンは... 当世勤人気質〈8〉

赤瀬川 隼

NHKテレビのBS2で今年の元旦から「昭和二十年」という番組が始まった。戦後六十年にちなんだ企画で、毎日十分弱のインタビュ番組が一日一人、三百六十五日続くそうだ。終戦の八月十五日を挟んだこの年の記憶を個人的な体験を主に語る。当時中学二年生だった僕にも声がかかって出演した。

「歴史時間と生活感覚時間」

べらぼうな六十年に感じられる。そのうち半分は約三十年は、勤め先は二回変わったがサラリーマンの生活だった。漫然とふりかえっているうちに、ふと思つた。この六十年という物差しを、昭和二十年、一九四五年を起点に過去に向けてみるとど

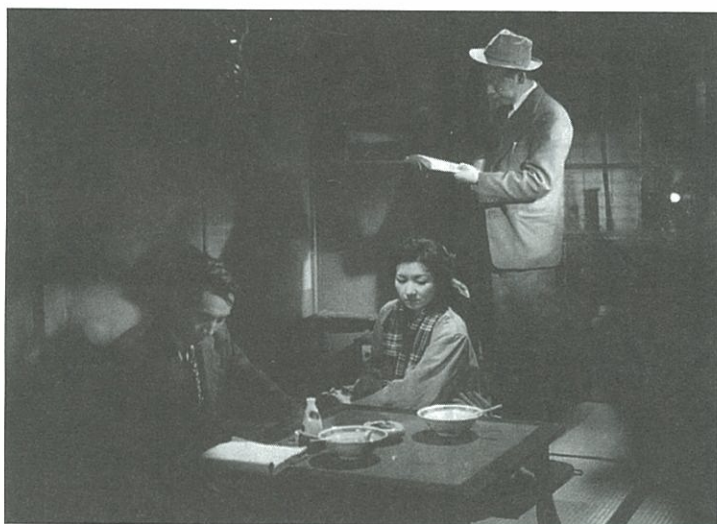
うなるか。物差しを当ててみた。一八八五年までさかのぼることになる。明治十八年である。年表を見ると「東京瓦斯局を浪沢栄一らに私下げ」「日本郵船会社設立」「内閣制度確立。初代首相伊藤博文」「坪内逍遙」等。途中でまた果然となつた。途中でもまた果然となつた。日清戦争より十年前から始まる六十年、明治・大正・昭和の、いくつもの大きな戦争を経た波瀾万丈の六十年が、戦後六十年と同じ長さだといふのか。頭では物理的に同じ時間だとわかっていても、戦後六十年は次第に短くなつてくるのが一般的です。その原因は光を感じて眠りをコントロールする体内時計の機能が加齢で弱まったり、脳から分泌されるメラトニンという眠気を促すホルモン分泌が低下するなど、相乗的な自然老化の結果です。

でも心配には及びません。人間は生理的に必要な睡眠が不足すると、ホメオスタシス(恒常性)機能が働き、短時間でも効率よい眠りで、ちゃんとリカバーするからです。「加齢に伴う睡眠の変化は当然」と泰然自若に構えることが、まさに快眠第一のコツ。日中眠気に困らなければそれで十分なのです。

あと、は時刻にこだわらず眠くなつてから床に就き、朝は外光をしっかりと浴びて体内時計のリセットを心掛けてみましょう。加齢変化はあらかじめ知り、上手に迎撃することです。

医療福祉ジャーナリスト
おち とよこ

シネマ談話室



「浮雲」の撮影風景。左から森雅之、高峰秀子、成瀬巳喜男監督

成瀬巳喜男という名匠がいた。代表作に「めし」「稲妻」「山の音」「浮雲」などがある。明治三十八(一九

〇五)年、東京・四谷の生まれで、今年生誕百年。世田谷で没した縁から、世田谷文学館で「成瀬巳喜男展」が開催中だ。

昭和二十六年の「めし」がキネマ旬報ベストテンの二位に入つてカムバック。以後「稲妻」「夫婦」「あにいもつと」「山の音」「晩菊」と秀作を連打する。多くが高峰秀子の主演で、これも小津と原節子の関係を思わせて興味深い。

成瀬は市井の女の情念や愛憎のひだを、叙情に流さない覚めたリアリズムでとらえた。頂点が昭和三十年の「浮雲」(キネマ旬報ベストテン一位)。この作品は、ライバルの小津をうならせる。

昨年、キネマ旬報がジャンル別の「オールタイムベストテン」を発表した。単年度ではない、映画史上のベストテン選考だ。その恋愛映画部門で「浮雲」はトップにランクされた。

「浮雲」は、戦中・戦後の世相を背景にした男(森雅之)と女(高峰秀子)の腐れ縁がテーマ。身勝手なで、みじめで、会えば愚痴と恨み言の応酬。それでも離れられない二人を成瀬が

成瀬巳喜男と「浮雲」

昭和二十六年の「めし」がキネマ旬報ベストテンの二位に入つてカムバック。以後「稲妻」「夫婦」「あにいもつと」「山の音」「晩菊」と秀作を連打する。多くが高峰秀子の主演で、これも小津と原節子の関係を思わせて興味深い。

「浮雲」は、戦中・戦後の世相を背景にした男(森雅之)と女(高峰秀子)の腐れ縁がテーマ。身勝手なで、みじめで、会えば愚痴と恨み言の応酬。それでも離れられない二人を成瀬が

「浮雲」は、戦中・戦後の世相を背景にした男(森雅之)と女(高峰秀子)の腐れ縁がテーマ。身勝手なで、みじめで、会えば愚痴と恨み言の応酬。それでも離れられない二人を成瀬が

「浮雲」は、戦中・戦後の世相を背景にした男(森雅之)と女(高峰秀子)の腐れ縁がテーマ。身勝手なで、みじめで、会えば愚痴と恨み言の応酬。それでも離れられない二人を成瀬が

「浮雲」は、戦中・戦後の世相を背景にした男(森雅之)と女(高峰秀子)の腐れ縁がテーマ。身勝手なで、みじめで、会えば愚痴と恨み言の応酬。それでも離れられない二人を成瀬が

「浮雲」は、戦中・戦後の世相を背景にした男(森雅之)と女(高峰秀子)の腐れ縁がテーマ。身勝手なで、みじめで、会えば愚痴と恨み言の応酬。それでも離れられない二人を成瀬が

読んだら 老けない「シラム



歳を重ねるにつれ、老け込む人と老いを感じさせない人の落差は、何故か深まるばかり。Agelless(不老)は、古今東西、太古の昔より永遠の夢ですね。

さすがに永遠のAgellessは無理としても、[Agelless] (少々老いる)は、近年、老年医学を中心に著しく解明されつつあります。商業イスマムの「アンチ・エイジング」ではなく、エビデンスある日常生活でちよつと心掛けられるヒントを毎回ご紹介しましょう。

その第1回目は「睡眠」です。

「最近、どうも眠りが浅くて」と、加齢とともに睡眠パターンの変化が気になり始める方は多いものです。そこで、ついついナイトキャ

ップ、アルコールに頼っている方も...。しかし、寝酒は一見、寝つきがよくなったようでも、結局、短時間で目覚めるなど睡眠パターンそのものを乱し、結果的には良質な眠りの妨げとなります。ではどうしたらいいのでしょうか。睡眠パターンは40歳からいから変化が見られ、夜の眠りは浅く、途中覚醒や早朝覚醒があり、総睡眠時間

は次第に短くなつてくるのが一般的です。その原因は光を感じて眠りをコントロールする体内時計の機能が加齢で弱まったり、脳から分泌されるメラトニンという眠気を促すホルモン分泌が低下するなど、相乗的な自然老化の結果です。

でも心配には及びません。人間は生理的に必要な睡眠が不足すると、ホメオスタシス(恒常性)機能が働き、短時間でも効率よい眠りで、ちゃんとリカバーするからです。「加齢に伴う睡眠の変化は当然」と泰然自若に構えることが、まさに快眠第一のコツ。日中眠気に困らなければそれで十分なのです。

あと、は時刻にこだわらず眠くなつてから床に就き、朝は外光をしっかりと浴びて体内時計のリセットを心掛けてみましょう。加齢変化はあらかじめ知り、上手に迎撃することです。

医療福祉ジャーナリスト
おち とよこ

「CSR」は国際規格化にまよわない。企業の自主的取り組みであったが、今後の対応が注目される。

▽ノーベル平和賞受賞のワシントン・マタリさんが来日受賞は環境、女性、労働などのテーマに取り組んだNGO活動を評価されたもの。ケニアの前独裁政権時代に幾度も逮捕され苦難の後の栄誉だが、記者会見では、暗さを感じさせない、なかなか優しさにあふれたスピーチだった。

▽本書の面を切り上げた「ミセスのためのミニ大学」は女性の立場、視点に立った活動で、200回を越す実績を作っている。ここではスタート当初から、大宅映子さんがコーディネーターを務めた。「女性が変われれば、世界が変わる」と強調。大宅さんの影響力・実行力が、大きく実りつつある。

▽CSRについての国際的基準をISO国際標準化機構、本部ジュネーブが作る。ことになったという。日本では「CSR」は国際規格化にまよわない。企業の自主的取り組みであったが、今後の対応が注目される。

(千)